

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

やくし幼稚園第1回秋季運動会

昭和28(1953年)年頃



昭和28年に開園された田宮町のやくし幼稚園で初めて開催された運動会の記念写真です。薬師寺境内の広場には万国旗が取り付けられ、その下では制服に鉢巻姿の園児たちが輪になって、演技を披露しています。運動会は毎年11月3日ごろに開催されました。やくし幼稚園は多くの子どもの成長を見守ってきましたが、平成8年に惜しまれつつ閉園しました。



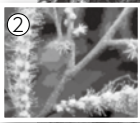
「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

文芸さろん | 長月 |

① 結実期の樹冠・牛久町の斜面林 (平成24年10月8日撮影)



②花序(雄花は下方左右、雌花は中央左右):牛久町(平成11年6月3日撮影)、③裂開果実(栽培品種):女化町(平成10年8月25日撮影)

第45回

クリ

ブナ科クリ属の落葉広葉高木。北海道(石狩・日高以南)から九州の山地に自生し、県内でも全域に生育。市内では斜面林や雑木林に多く見られます。果樹としても広く植栽されています。因みに平成29年の茨城県のクリ生

暮れなずむ海辺にひとり夏の果
花火屑流して朝の隅田川
また一本またいっぽんの花火かな
秋刀魚焼く煙なつかし古里は
蝉ひとつ亡きながらなりて道の端
蓮池や花散り蛙ゲツゲツ歌う
立秋と云えども暑さまだありて

一 涼 空 一 涼 空 一 涼 空 一 涼 空

富美子 岡村さん 和多田さん 長沢さん

産額は全国1位でした。樹皮は灰色または灰黒色で縦に割れ目があります。葉は互生し葉身は7~14cm、縁には鋭い鋸歯があります。花序は新枝の葉腋から出て黄色の紐状、長さは13~23cm、そのほとんどが雄花で、基部に1~2個の雌花が付きま(写真②)。開花は5~6月、独特の強い匂いを放ち、虫を誘います。果実はいがに包まれ、熟すと4裂して1~3個の堅果が現れます。*牛久の里山樹木ハンドブック16ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章・秋山侃、写真:①戸塚昌宏、②③渡辺泰)

<次回募集テーマは「秋」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)